

## 下仁田町西牧鉾山に関する学際的研究

菅原久誠（群馬県立自然史博物館・鉾山研究会）・本多優二（鉾山研究会）・鉾山研究会\*

### 1. 鉾山研究会とは

鉾山研究会は、西毛地域（特に、下仁田町、富岡市、甘楽町）を中心とした鉾山の岩石・鉾物・位置調査、聞き取り調査および資料の収集ならびに調査・収集成果の公表を行うことを主目的として2017年3月4日に誕生した。発足のきっかけは、日本地質学会が2016年に群馬県の石のひとつとして「西牧鉾山の鶏冠石」を選定したことであるため、西牧鉾山跡地における盗掘等の防止対策や、跡地の保全および観光資源としての活用計画の検討も前述と並列して主目的に掲げ活動している。

鉾山研究会の特徴は、地質・岩石・鉾物分野のみならず、鉾山の盛衰の歴史、産業遺産としての評価、鉾山付近の動植物や環境の調査など、学際的に活動を行う点である。発足から現在までに、既に西牧鉾山、中丸鉾山、中小坂鉄山などを対象に調査を開始しており、情報収集活動や一般向けの見学会を行うなど、精力的に活動している。

### 2. 西牧鉾山調査

既に閉山している下仁田町大字南野牧の西牧鉾山は、流紋岩中の鉾染状鉾脈で、主にヒ素（As）の鉾山としてヒ素を含有する鶏冠石（ $\text{As}_2\text{S}_2$ ）や雄黄（ $\text{As}_2\text{S}_3$ ）が始期は定かではないが戦前から採掘されていた（鉾山研究会聞き取り調査より）。稼働時期によって、西牧（さいもく）鉾山や西ノ牧（にしのみき）鉾山と呼ばれることもあるが、ここでは日本地質学会の表記に沿って西牧（にしのみき）鉾山を採用する。

鉾山研究会の積極的な聞き取り調査の結果、鉾山で働いていた複数の方と出会うことができ、稼働当時の情報を伺うことができた（下仁田自然学校，2016；同，2017）。また、地権者を含む地元の方々に現地を案内していただき、坑口2ヶ所、精錬所跡、鉾山事務所跡、トロッコ線路跡などの位置を確認・記録した。また、稼働当時に従事していた小金澤正代さんからは、貴重な当時の写真を見せていただくことができた。ポスターでは、当時の写真、西牧鉾山の鶏冠石標本および1号口入口で採集した安山岩の岩石記載結果を公表する。

### 謝辞

鉾山研究会のこれまでの調査は、調査地域在住の方々や土地を所有している方々に支えられることで成果が実ってきた。西牧鉾山調査では特に、黛富夫さん、黛勝司さん、高瀬得尋さん、小坂橋友二さんには様々な場面でお世話になった。鉾山研究会一同、心から御礼申し上げます。

### 引用文献

下仁田自然学校，2016，くりっぺ，92，8-9；下仁田自然学校，2017，くりっぺ，93，10-13

キーワード：鉾山，下仁田町，西牧鉾山，鶏冠石

\*鉾山研究会会員：里見哲夫，吉川和男，飯島富司，石井利子，市川 孝，小林まさ代，菅原久誠，関 茂雄，高橋敏博，中島啓治，本多優二，黛 一富，和田晴美